

第3回 中札内村景観まちづくり委員会 会議録

日 時 令和6年7月24日(水) 18:30～20:30
場 所 中札内村役場会議室1
出席委員 金澤和彦、片山祐二、渡部弘正
欠席委員 歌野裕美、下埜智加、林理央、柴田裕貴也
事務局 総務課課長 中道真也、総務課長補佐 下浦強、総務課主査 金沢愛、
総務課 吉田彩乃
景観アドバイザー キタバ・ランドスケープ代表 斉藤浩二
オブザーバー パシフィックコンサルタンツ(PCKK)現地: 宮崎栄一郎、遠藤太一
オンライン: 市川基和、上野正美、大西美花

議 事

1 開 会 18:30

— 中道課長より開会のあいさつ —

2 会長挨拶

— 会長より「日本で最も美しい村」連合定期総会の参加報告 —

(会 長) 小麦の収穫の季節となり、村でも独特の風景が広がっています。

先月、「日本で最も美しい村」連合の定期総会と学習会に参加してきました。総会が開かれたところは、福岡の海辺の人工島でした。福岡はにぎわいや活気を感じた反面、視察先の東峰村と星野村は過疎に苦しんでおり、景観まちづくりの担い手もおらず、厳しい状況でした。そんな中、地域の価値を十分に理解し、一生懸命頑張っている人達もおられ、自分たちの地域に誇りを持ってそれを人に伝えていこうという気概が強いと感じました。

この委員会でも、村の魅力を地元の住民の皆さんによく知ってもらい、誇りをもって景観をまもり・つくり・人に伝えていく。そうやって輪が広がっていけばと思います。本日もどうぞよろしくお願いいたします。

3 報告事項

— 資料1に基づいて第2回ワークショップの結果報告 —

(PCKK 宮崎) 第2回のワークショップでは、テーマを2つに絞って議論しました。

14ページ目では、中心市街地の景観をどのように形成していくかというテーマで、いただいた意見を整理した結果になっています。特徴として、建物の色や形に関する意見はほとんどなく、緑をどうするかという意見が多かったことが挙げられます。学校や施設管理者が緑をつくり、配布または安く販売するといった意見や、花や樹木の推薦リストをつくり、在来種を大切にするといった意見。補助金の周知、植栽や維持管理のアドバイスをすると良いという意見もありました。その他、太陽光パネルの新設のルールを明確にしたほうが良いなどがありました。

15 ページ目は耕地防風林をどう残していくかというテーマですが、今回のワークショップでは農協から参加いただいた方は1名のみだったので、別途農協・農家の方とは意見交換が必要だと考えています。

農家への直接的な補助だけでなく、クラウドファンディングや、カラマツよりも維持管理が楽で肥料に利用できる樹種を選ぶという意見がありました。

その他、防風林から利益を生み出して農家の方々の助けにするという意見や、森林組合との連携により負担を減らすといった意見、防風林の効果的な配置の仕方などを農家の方に周知するといった意見などもありました。

まとめとしては、防風林はやはり何らかの形であったほうが良いですが、今のままでは減少していくことが目に見えているので、残していくための仕組みやルールが必要だということになると思います。

4 協議事項

— 資料2～4に基づいて中札内村景観計画の構成案の検討事項を説明 —

(PCKK 宮崎) アンケートと2回のワークショップから、村民の意見を整理したものが資料3です。

意見の景観計画への反映の仕方を、事例を踏まえながら説明します。

■他の自治体の事例紹介

東川町…計画本編とは別にガイドラインを作成している

ガイドラインは写真が多く、東川の景観のイメージが一目で分かる
大切にしていることや住宅の規制などについて簡単に整理しており、
一般の方にもわかりやすい

中之条町…14 ページ目の景観特性図は、区域ごとにルールを決める場合に有効

(中札内村でいえば国立公園、市街地、農地など分けるのが良い)

26 ページ目からは良好な景観の形成に関する方針が示されている

(中札内村でいえば農村景観ガイドプラン)

74 ページ目からは景観重要建造物、景観重要樹木について記載されている

(固有名詞を出すかどうかは慎重に要検討)

他自治体の例を見てきましたが、東川町のように事務的に必要なものと、皆さんに周知・普及させるものを別に作るやりかたが考えられます。また、中之条町のように、事務手続きと皆さんへの周知の両方の役割を持つ、大作を作ることも考えられます。皆さんからご意見をいただいて、我々がまとめていく上で参考にさせていただきたいです。まず会長からご意見ありますでしょうか。

(会長) 鶴居村の景観計画についても、このまま解説いただきたいです。

(PCKK 宮崎) 鶴居村は、計画で定めている項目は中之条町と近いです。共通の項目がコンパクトにまとまっていると思っていただければ良いと思います。鶴居村も景観計画区域は村全体としていますが、区域を一般区域と特別区域に分けていて、特別区域の中に、重要道路沿道区域と市街地景観区域があります。また、市街地転換区域も三つに分かれていて、合計すると5種類の区域があることになります。

景観形成基準は区域によって変えていませんが、区域によって届け出対象行為が違います。例えば柵だと、一般区域であれば高さ 5m 以上のものは届け出なくてはならないけれど、特別区域だと高さ 3m が基準になっています。

景観計画として書く項目や、書き方が自治体それぞれで違うことを意識していただければと思います。

(会 長) 景観計画には色々な作り方があって、どのように作ってもいいということですね。

(PCKK 宮崎) はい。ただ、資料 2 の表にある「必須」は法律に基づいて必ず定めなければいけない事項です。「選択」となっている項目は、定めなくても良いものですが、定めた場合は法的な効力が発生します。「望ましい」とある項目は、必須ではありませんが、ほとんどの自治体でも定められているものです。

(会 長) 皆さんいかがでしょうか。他の地域の景観計画の事例を見てどう感じましたか。

(委 員) 定めている項目が少ないものもあれば、事務用手続きと、住民への周知の役割を一つにまとめているものもあり、コメントが難しいです。景観計画は、自分だけでなく皆にとっても必要であるということは間違いないと思います。資料 2 で、「必須」や「選択」の項目がありますが、まだまだ村民意見を聴取する必要があるのでしょうか。ワークショップでも意見が出ていると思いますが、やはりそれぞれの項目について議論することは難しいと思います。

(PCKK 宮崎) 難しいことは我々にお任せください。委員の方々には、「こんな計画にしてほしい」ということを仰っていただければと思います。例えば、地域特性の項目を重視している自治体はそれだけで 20 ページもありますが、イメージを伝える程度の自治体もあります。

中札内村でいえば、防風林を歴史的な地域の資産として考えるのか、それとも単なる防風機能がある樹木として考えるかによって、重みが違ってくるのではないのでしょうか。少なくとも村民全体は、防風林はあった方が良くと考えており、村民の思いを踏まえた景観計画を作るために農家の方々とお話をしていくことになります。

(委 員) 中札内村が良いと思って移住してきている人の視点と、近代的な農業のために防風林が邪魔だと考える人とは、関わっているものが違う。それぞれの仕事や着眼点によって、守るものや規制に対しての考えが違います。

また、村民がそもそも見てくれない計画では良くないと思います。以前、 unnecessary 看板を取り除いたり集約したりする際に、商売に影響が出るといった意見も出ていました。拒否反応が出ないように徐々に周知していくことが良いと思います。

まずは簡略的なものから入って意識を持ってもらわないと、「またややこしいことが始まったな」と思われてしまう。ただ、村民に自分たちがどういうものに関わっているかということは、しっかり理解してもらえるようなものを作るべきだと思います。

資料２の選択する項目に対する村民意見の整理は、例えば自然公園などを対象に、別途意見聴取の場を設けるのでしょうか。

(PCKK 宮崎) 資料３の７ページ目にあるように、自然公園の課題として「生態系の維持」や「日高山脈のガイド・ツアーが少ない」といった意見をすでにいただいています。自然公園内は法律で守られているので、無茶なことはできないと思います。また、今後の方向性としても、利活用を考えた方が良さだろうという意見は伺っています。また、村民の皆さんがすごく重要視している一本山展望台についても景観計画の中でも言及する必要はあるかと思います。

ガチガチに固めすぎると、村民からの批判があったり、誰もついてこないようなものになったりしますので、景観計画を進めていく上で現実的な匙加減を考え、委員の皆さんと意見を交えながら、ルールや方針を決めていきたいと思っています。

(委員) 元々村にいるからすると、ゴミのポイ捨てがなければ良いというレベルの感覚かと思います。花をたくさん植えるよりも、ゴミ箱を増やすほうが良いとか、そのような意見の人がいる中でどのように村の中に景観まちづくりを取り入れていくかはすごく難しいと思います。

(移住者が多い)ときわ野の人達に意見を伺うとたくさんアイデアや意見が出てきます。でも村民全員を対象に聞いたら、古い家をどうするとか、ゴミだけは散らかさないでほしいといった意見は出てくるけれども、それ以上の意見はなかなか出てこないのでは。その中で、この委員会で景観が大切だということをどのように村民に伝えていくかはとても難しいと感じています。

私は鉄道記念公園から小学校までずっと続く道が好きです。春ならスズランやカタクリ、など季節ごとに花を植えて、歩いて気持ちの良い道にできるのではないかなと思います。プロの方にどこにどんなものを植えるか、整備するかグラスも含めて指導を受け、歩いて楽しい空間を作る。そういうところから広がっていくのかなと。

あと、東川町は住宅を整備する段階ですよ。中札内村は既に住宅ができていて、そこに緑をいっぱい増やすことは難しい気がしています。お金もかなり必要になりますが、鉄道記念公園から小学校まで続く道を良くするところから変わってくるのではないのでしょうか。

防風林に関しては、農協の人達の考えは大変重要になってくると思うので、残してもらいたいということを上手に伝えていくことが大事かと思います。また、切った際にただ薪として燃やされるのではなくて、材木として何か作れるといい。自分の畑の木が加工されて、それで子供たちがすごく喜んで遊べるものになると、農家の方も伐採後に植えてみようと思う気がします。

(PCKK 宮崎) 特に東川町は住宅政策に力を入れていて、旭川に通勤する人のベッドタウンとしての役割も果たしています。

(委員) 住宅の敷地がすごく広いですよ。雪が多いこともあるかもしれませんが、小さな

区画では売らないことで、緑も多く植えられたのだと思います。

(会長) 実際に景観計画を運用するのは行政のスタッフの方なので、事務局の意見を伺いたいです。

(金沢主査) 行政としては、運用していくにあたって行為の規制の基準がどれぐらいのボリュームになるかが関心事です。規制の部分は別冊とすることで、改変しやすくすることも少し考えていました。

また、中之条町の「スケッチに残してほしい風景がある ふるさと風景ノート」という考え方がすごく面白いと思いました。28 ページにある目指すべき理想の景観には、町が思い描く故郷の風景が非常に分かりやすく、共通認識として示されていて、中札内村でもこういうものができれば良いと思います。

また、先ほどの鉄道記念公園付近の道がすごく好きだというお話をいただきましたが、村民として守りたい・大事にしたい・もっと良くしたい区域があれば、それをぜひ景観計画に入れたいと思っています。

(中道課長) 行政サイドの話からすると、新たな基準を作ることは、やはりハードルがあると感じています。例えば、施設課は「中札内スタイル」に沿うものとして、緑化などをしていたら奨励金を出していますが、住民がお金欲しさで景観づくりに取組んでもあまり意味が無いので、住民との目線合わせが重要になると思います。目線が合わないと、緑地空間を作ってもらっても管理をきちんとしてくれない。施策だけで引っ張っていくことは難しいと思います。

基準を作る際は、どう共存していくかというところがあるので、防風林のように守るエリアやこれから未来に向けて繋いでいくものなどを分けて考えていくべきだと思います。規制は、ハレーションが起らないように、準備をどう進めていくかが難しいところ。ただ、景観計画を作る以上は規制についても一歩踏み出したものにしなければもったいないと思いますので、しっかり守るべきものと規制するもの、支援してでも進めるものを、使い分けることが重要だと思います。

(下浦課長補佐) 住民の方に見ていただくことを考えると、東川町のガイドラインのように外向けの資料を計画とは別に用意することが良いと思います。また、これまでの村の景観の取組みを別冊資料のような形で後世に残すことも必要なので、全部をまとめるのではなくて、見やすいものと別冊資料が分かれてあるのが良いと思っています。

村の景観は現時点ですごく悪いわけではなく、規制に対する拒否反応もあるかと思うしますので、上から規制をかけるというよりは、今ある良さを改めて再認識し、大事につないでいくというスタンスの見せ方が良いのではないのでしょうか。

(吉田課員) 私も、体裁としては東川町のように、見やすいものと行政文書のような文字主体のものに分けると良いと思います。ただ、東川町のガイドブックは長いと感じるので、鶴居村の概要版くらいのものであれば、若い人も手に取りやすいかと。

中身については課長と同意見で、ある程度の規制がないとこれまでと同じようものになって意味がないと思います。

第2回ワークショップでは景観に関心の高い方が多く、前向きな意見も出ていましたが、あまり関心がない方のご意見もしっかり聞かないとハレーションが生まれてしまいます。もっと色々な方の意見を聞いていく必要があると思います。

(会長) ありがとうございます。私としては、最初の挨拶でも申し上げましたが、住民に想いを持ってもらうことから始まると思っています。上から言われたことは、反発してしまいますよね。法やお金で縛るというよりも、取組に自ら加わりたいと感じさせることができるかが大事です。資料2の項目の表では、理念や目標にあたります。そして、景観の特徴、課題や方針も重要になると思います。

また、太陽光発電施設の開発の現状について調べましたが、道内は特に平地が多いので、苫小牧などはひどいことになっているみたいですね。鶴居村は湿原だったところや私有地、しかも目立つような場所に太陽光発電施設が増えていて、そこから景観計画の策定にいたったと思われます。排除するべきものはしっかりと排除して、残したいものは誘導策をとる。そのためにも排除するもの、残してもらいたいもの、あるいは活動してもらいたいものを整理する必要があると思います。

個人的には電柱電線は排除したいものです。電線電柱がなければ日本の風景はだいぶ違ってくる。海外では理念が強いからか、徹底的に排除している地域もあります。

(斎藤先生) なぜ景観計画を作っているのか、そして景観まちづくりをするのかというと、村長が決意したからです。そして、村長一人で決めたわけではなくて、景観まちづくり委員会が、会長の代になってから10年という長い助走期間があって、村独自の景観作りをしていこう、そのために景観行政団体になろうと決意したからですね。そういった背景もあって、村の何割かの人は景観に関心を持っている。まちは、2割ぐらいの人が何かを考えたら絶対変わります。

昔から住んでいる人達にあまり関心がなく、規制へのハレーションが出る心配はもちろんありますが、村は既に踏み出したのです。景観計画によって、関心がある人はより一層関心を持ち、無関心の人には気づいてもらえるきっかけにもなるわけです。ですから、ハレーションを怖がってはいけません。ダメだと反応する人にはまだ見込みがあり、全く無関心な人の方が困るわけです。ただ、その人達は景観計画、規制を定めることにならないと意見が出てこないの、資料2の必須項目は決めていかなくてはならない。ではどういう資料、数値、色、言葉で伝えるかが重要です。マンセル表で色を決めるなどの細かいことはこれから決めていくことです。

どのような景観計画を作るかについて本日初めて話し合いました。まだ素材が足りない気もしますが、アンケートもワークショップも実施し、これ以上素材を集めることに時間をかけてもらえません。あとは、事務局サイドに力仕事で頑張ってもら必要があります。景観計画の本格版はどのくらいの厚さになろうとも、書くことは書く。誰が見ても中札内村の現状が理解でき、目標、基本方針、基準があり、実際に形にするための規制、届け出のプロセス、村民・行政・民間の役割、具体的な方策の柱なども

ある、フルスペックのものを作るべきです。

それと、モデルにする資料はもちろんあった方が良いですが、真似をしてはいけません。この農村景観ガイドプランは一から考えて、全国に先駆けて作ったものです。それから何十年を経てたくさんの地域が、工夫しながら良い景観計画を作っていますから、トップランナーであった中札内村が、どこかで見たような計画では恥ずかしいのではないのでしょうか。新しい景観計画の見せ方やデザインも考えていきたいです。

(金沢主査) 全部は難しいですが、独自性のあるエッセンスがところどころに含まれるようなものにできれば良いと考えています。

(斎藤先生) そこで大切なのはデザインで、絵だけではなく、全体の構成も含めてです。

農村景観ガイドプランを作った際に、当時の村長は職員に、「このガイドプランはうちの村づくりの憲法だからな」と、何かの事業で道庁の人等と話す際に使うように言っていました。

このガイドプランでは、日本一の農業の村を作ることが、日本一美しい村になるということを掲げていましたが、次は何がよいのでしょうか。変えなくても良いと思いますが、キャッチフレーズはとても大事です。聞いただけで、イメージが膨らむようなものがあれば良いと考えます。

5 その他

ー 資料5に基づいて今後のスケジュールについて協議 ー

(PCKK 宮崎) 次回の景観まちづくり委員会は12月を予定していましたが、もう少し小刻みに開催しないといけないと思います。本日皆さんのお話を聞いて、やはり景観計画の示し方が非常に重要だということが分かりました。また、基準については、一番緩いところと言えば、北海道の景観計画と同じにすると良いのですが、中札内村で大事にされている緑、特に村のシンボルになっている文化創造センターから鉄道公園の間の空間を、どうまちなかに少しでも広げていくか、防風林に対してステークホルダーの農協さんと協議しながら実際に何ができるのかを考えなくてはなりません。この二つは、他とは別に必ず形にする必要があると思っています。

書面が良いか、お集まりいただくのが良いのか分かりませんが、景観計画の村民への示し方について素案を作成するので、少なくとも12月までに一度ご意見を伺いたいと思います。斎藤先生から、作成する景観計画自体はフルスペックでとありましたので、その作業と並行して進めてまいります。

(会長) その作業は、スケジュールの中でいうと、タスクフォースにあたるのでしょうか。

(PCKK 宮崎) タスクフォースは、村の各課課長をお呼びして開催するものです。

今回の委員会を受けて、やはり景観計画の素案のようなものがないと議論が進みづらいと思いますので、たたき台のようなものを作ってから、各課の方に見てもらいたいと考えています。

(会 長) 素案作成の作業はどのようにチームを組んで取組むのですか。

(PCKK 宮崎) 金沢主査、会 長と私の 3 人で主に取組むことになると思います。

(斎藤先生) 2 年ほど前に景観まちづくり委員会で各課の課長から話を聞く機会がありましたが、皆さんかなり関心があったように思います。この業務の中でも関係するのですね。

(会 長) 村の景観の取組も 50 年近くになります。村の最上位の条例である「まちづくり基本条例」にもあるように、村民がまちづくりに関わる必要があります。これまでの景観に関する取組などをご説明すれば、村民からはあまり拒否反応は出ないのではないのでしょうか。決して新しいことを言っているわけではないと。村民の方も少しはご理解されているとは思いますが、説明の仕方はやはり大事だと思います。

(斎藤先生) 「豊かな自然を未来につなげるふるさと景観条例」もあるので、景観計画策定のあとに改正が必要になりますね。

(会 長) それでは、そろそろいい時間になってきましたが、まずたたき台を作っていただけるとありがたいと思います。今までのスクリプトに沿った中札内らしいものができれば良いと思います。

(PCKK 市川) 大阪の市川と申します。今回お話を伺って、どこにもないものを作ることが必要だと思いました。他の地域の景観計画も見やすいものもありますが、中札内村でも見やすく、本当に重要なところをピックアップし、村の景観がとても良いことが感じられるような計画にできるように頑張っていきます。本日はありがとうございました。

(金沢主査) 予定では次回の景観まちづくり委員会は 12 月でしたが、その前に最低でも 1 回は、皆さんのご意見をお聞きしたいと思っています。

(会 長) 9 月以降になれば農家の方も時間ができるかもしれませんね。では、本日はありがとうございました。

【要旨】

< 景観計画のあり方について >

- ・ 景観は人の想いで作っていくものであり、村の魅力を地元の住民によく知ってもらい、誇りを持って景観をまもり・つくり・人に伝えていく輪を広げていくことが重要である。
- ・ 景観計画は村民の方々に想いを伝えるとともに、自ら関わりたいと思ってもらえるようなもの、モチベーションがあがるようなものが良い。関心のないひとにも関心を持ってもらうきっかけとなるものが良い。
- ・ 景観は村民と一緒に作るものであり、意見を最大限に反映して皆で使えるものにしていく。
- ・ 計画では、まちづくり基本条例を基本とすること、今までの景観に対する取組をきちんと説

明していくことを示すことが、村民の方々の理解を得ていく上で重要である。

<景観計画の構成について>

- ・ 村民からの拒否反応を抑え、村民と協働して景観まちづくりに取組めるように、デザインや校正など、景観計画の伝え方を検討する必要がある。
- ・ 景観計画とは別に、東川町景観計画・東川風住宅設計指針ガイドブックや鶴居村景観計画概要版のような資料を作ることが考えられる。
- ・ 景観計画自体は、必須の項目だけでなく、任意の項目も網羅したものを作成する。
- ・ これまでの村の農村景観ガイドプランや景観形成指針といった取組から一歩進めるためには、区域区分も含め、何を守るか、何を取り除いていくか等、対象と基準の整理が必要。
- ・ 景観計画は村の独自性が出るようなものにする。

<景観まちづくりの進め方について>

- ・ 市街地の景観の形成においては、鉄道記念公園通りなどの村民に親しまれている緑空間から、まち中に広げていくことが考えられる。
- ・ 耕地防風林をどう残していくかについては、農協などのステークホルダーと協議していく必要がある。

<今後について>

- ・ 次回タスクフォースでは、事務局や景観まちづくり委員会からいただいた意見をふまえ、現状、課題、方向性を整理した資料を提示し、施策等での取り組み方法を各課に持ち帰っていただき検討していただくキックオフとする。
- ・ 当初、次回の景観まちづくり委員会は 12 月開催を想定していたが、委員から景観計画の素案・たたき台について意見を聴取するため、12 月以前に景観まちづくり委員会を開催することも考える。